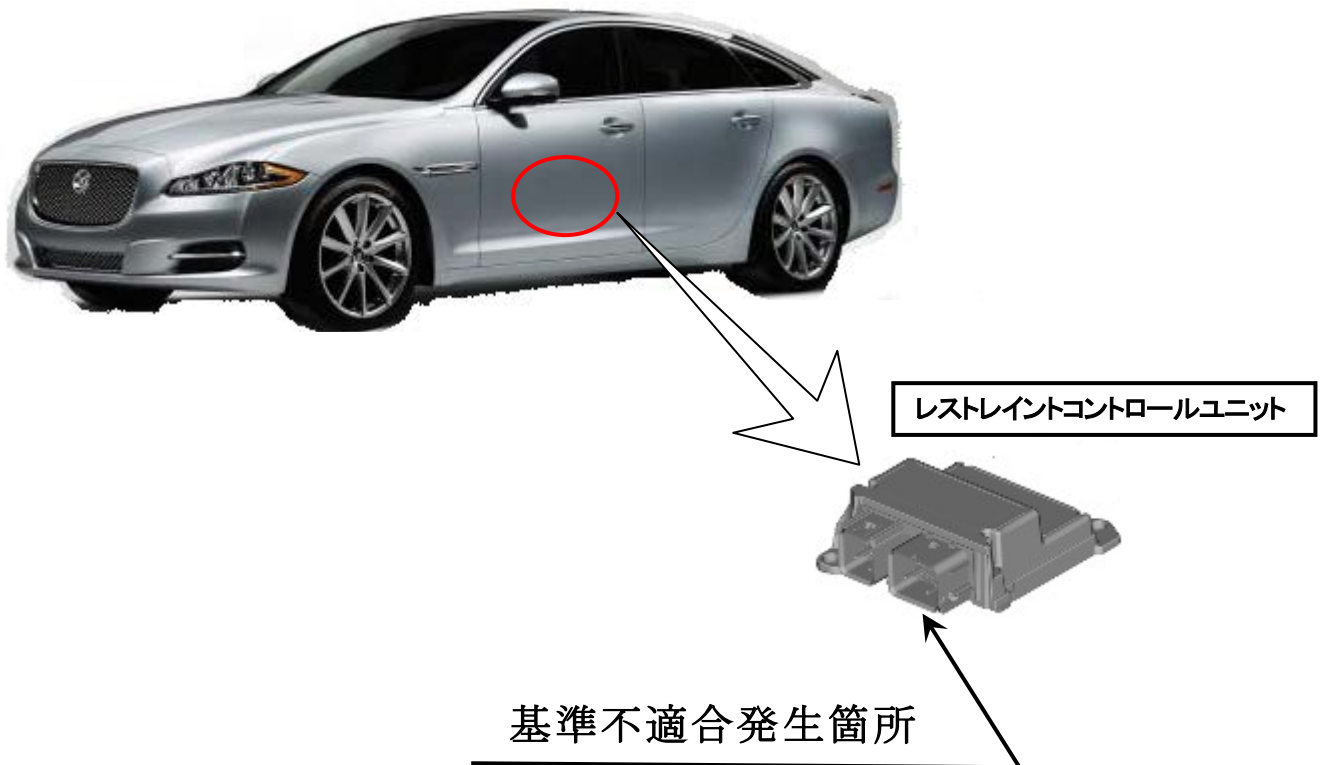


改善箇所説明図



整備時に使用する診断機の設定が不適切なため、エアバッグ展開を制御するレストレイントコントロールユニットに誤ったプログラムが設定されたものがある。そのため、エアバッグ展開制御のしきい値が設計値より高くなり、衝突時にエアバッグが展開せず、最悪の場合、乗員が過度の傷害を負うおそれがある。

改善の内容

全車両、レストレイントコントロールユニットのプログラムを確認し、誤ったプログラムが設定されている場合は、正しいプログラムに変更する。

識別：左フロントドアチェックアームの取付けボルト頭部に白ペイントを塗布する。

注： は対策する部品を示す。